# Java Web システム ショッピングサイト

システム名		KEN ショッピングサイト
処 珥	名	商品情報検索 DAO
プログラム名		SearchDAO
パッケージ		ken.dao

KEN School

処理名	商品情報検索 DAO	クラス名	SearchDA0
業務概要	要説明		
【処理概要】 ● 商品	<b> </b> 情報をデータベースから検索する		

# 処理名 **商品情報検索 DAO** クラス名 SearchDAO

# クラス詳細 (クラス設計/フィールド設計)

## 【クラス設計】

項番	項目	値
1	package	ken.dao
2	class/interface/jsp	class
3	アクセス修飾子	public
4	修飾子	_
5	継承元	
6	実装元	_
7	使用クラス/インタフェース	java.sql.Connection;
		java.sql.DriverManager;
		<pre>java.sql.PreparedStatement;</pre>
		<pre>java.sql.ResultSet;</pre>
		java.sql.SQLException;
		java.util.ArrayList;
		ken.bean.Item;
8	アノテーション	_

#### 【フィールド設計】

項番	可視性	型	変数名	初期値
1	private	Connection	connection	
2	private	PreparedStatement	<pre>p_statement_selectItems_no_key</pre>	
3	private	PreparedStatement	p_statement_selectItems	

処理名 **商品情報検索 DAO** 

クラス名

SearchDA0

# メソッド・コンストラクタ詳細

【コンストラクタ設計】

コンストラクタ名 SearchDAO

項番	項目	値
1	アクセス修飾子	public
2	修飾子	_
3	戻り値	_
4	引数	_
5	try-catch (throws)	ClassNotFoundException, SQLException
6	アノテーション	_

#### 【処理内容】

- 1. Class クラスの forName メソッドを引数に文字列 "com.mysql.jdbc.Driver" を指定して呼び出す
- 2. String 型の変数を作成し、"jdbc:mysql://localhost:3306/latte\_station?useSSL=false" を代入する
- 3. String 型の変数を作成し、"root" を代入する
- 4. String 型の変数を作成し、"root" を代入する
- 5. DriverManager クラスのクラスメソッドである getConnection() メソッドを呼び出す。その際に、第一 引数として 2. で作成した変数を、第二引数として 3. で作成した変数を、第三引数として 4. で作成した 変数を設定し、戻り値をフィールド変数 connection に格納する
- 6. String 型の変数を作成し、"SELECT \* FROM latte\_station.item WHERE genre\_id=?" を代入する
- 7. String 型の変数を作成し、"SELECT \* FROM latte\_station.item WHERE genre\_id=? and (item\_nam e like ? or artist like ?)" を代入する
- 8. フィールド変数 connection が参照しているオブジェクトの prepareStatement() メソッドを呼び出す。その際に、引数として 6. で作成した変数を設定し、戻り値をフィールド変数 p\_statement\_selectI tems no key に格納する
- 9. フィールド変数 connection が参照しているオブジェクトの prepareStatement() メソッドを呼び出す。その際に、引数として 7. で作成した変数を設定し、戻り値をフィールド変数 p\_statement\_selectI tems に格納する

処理名 商品情報取得処理 クラス名 SearchDAO

### メソッド・コンストラクタ詳細

【メソッド設計】

メソッド名 search\_table

項番	項目	値
1	アクセス修飾子	public
2	修飾子	_
3	戻り値	ArrayList <item> 型 : 商品情報</item>
4	引数	String 型 key : キーワード, String 型 genre : 分類
5	try-catck/throws	SQLException

#### 【処理内容】

- 1. ローカル変数として ResultSet 型の変数 rs\_items を宣言すると同時に null で初期化する
- 2. もし、第一引数の String 型の変数が ""(空文字) ではなかった場合
  - 2.1 フィールド変数 p\_statement\_selectItems の setString() メソッドを呼び出す。その際、第一引数として 1、第二引数としてこのメソッドの第二引数を渡す
  - 2.2 フィールド変数 p\_statement\_selectItems の setString() メソッドを呼び出す。その際、第一引数として 2、第二引数として、このメソッドの第一引数を渡す。第二引数の前後には "%" を文字列結合する (例: "%" + key + "%")
  - 2.3 フィールド変数 p\_statement\_selectItems の setString()メソッドを呼び出す。その際、第一引数として 3、第二引数として、このメソッドの第一引数を渡す。第二引数の前後には "%" を文字列結合する (例: "%" + key + "%")
  - 2.4 フィールド変数 p\_statement\_selectItems の executeQuery() メソッドを呼び出し、戻り値をローカル変数 rs\_items に格納する
- 3. もし、2. の結果が false だった場合
  - 3.1 フィールド変数 p\_statement\_selectItems\_no\_key の setString() メソッドを呼び出す。その際に、第一引数として 1、第二引数としてこのメソッドの第二引数を渡す
  - 3.2 フィールド変数 p\_statement\_selectItems\_no\_key の executeQuery() メソッドを呼び出す。戻り値をローカル変数 rs\_items に格納する
- 4. ローカル変数として ArrayList<Item> 型の変数 list を宣言すると同時にオブジェクトを生成して代入 する
- 5. ローカル変数 rs\_items の next() メソッドの結果が true な限り、以下の処理を行う
  - 5.1 Item クラスのオブジェクトを生成する
  - 5.2 5.1 で生成したオブジェクトの setItemID() メソッドを呼び出す。その際、引数としてローカル変数 rs items の getInt() メソッドの戻り値を渡す (getInt() メソッドの引数は "item id")
  - 5.3 5.1 で生成したオブジェクトの setItemName() メソッドを呼び出す。その際、引数としてローカル変数 rs\_items の getString() メソッドの戻り値を渡す (getString() メソッドを呼ぶ際の引数は "item\_name")
  - 5.4 5.1 で生成したオブジェクトの setItemArtist() メソッドを呼び出す。その際、引数としてローカル変数 rs\_items の getString() メソッドの戻り値を渡す (getString() メソッドを呼ぶ際の引数は "artist")

## メソッド・コンストラクタ詳細

【メソッド設計】

メソッド名 search\_table

#### 【処理内容】

- 5.5 5.1 で作成したオブジェクトの setItemPrice() メソッドを呼び出す。その際、引数としてローカル 変数 rs\_items の getInt() メソッドの戻り値を渡す (getInt() メソッドを呼ぶ際の引数は "price")
- 5.6 5.1 で作成したオブジェクトの setItemImage() メソッドを呼び出す。その際、引数としてローカル 変数 rs\_items の getString() メソッドの戻り値を渡す (getString() メソッドを呼ぶ際の引数は "item\_img")
- 5.7 ローカル変数 list の add() メソッドを呼び出す。その際に、引数として 5.1 で生成したオブジェクトを渡す。
- 6. ローカル変数 rs\_items が null ではない場合
  - 6.1 ローカル変数 rs\_items を close() メソッドを使って閉じる
- 7. フィールド変数 connection が null ではない場合
  - 7.1 フィールド変数 connection を close() メソッドを使って閉じる
- 8. ローカル変数 list を戻り値として返す